

殺菌剤
イミノクタジナルベシル酸塩水和剤

ベルコート[®]水和剤

農林水産省登録 第18821号
(日本曹達(株)登録)

性状: 類白色水和性粉末 45 μ m

毒性: 普通物 (毒物及び劇物に該当しないものを指している通称)

危険物: 非該当

有効年限: 5年

包装: 100g \times 100, 500g \times 20

有効成分: イミノクタジナルベシル酸塩 \cdot \cdot \cdot \cdot 40.0%

殺菌剤分類 **M7**

ベルコート[®]は日本曹達(株)の登録商標です。

特長

- 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果があります。
- 作物に対する安全性が高く、登録作物の多い使いやすい薬剤です。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質合成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。

適用病害虫名及び使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
りんご	黒星病 斑点落葉病	1000~ 2000倍	200~700 ℓ /10a	収穫前日 まで	6回以内 (但し、開花期 以降散布は 3回以内)	散布	8回以内 (液剤及び水和剤は 合計6回以内(開花 期以降は3回以内)、 塗布剤は2回以内)
	輪紋病 褐斑病 すす点病 すす斑病 黒点病	1000~ 1500倍					
	うどんこ病 黄腐病	1000倍					
なし	黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病	1000~ 1500倍	200~700 ℓ /10a	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (塗布剤は2回以内、 液剤は1回以内)
もも	黒星病	2000倍	200~700 ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内 (休眠期は 1回以内)
	灰星病 ホモプシス腐敗病 うどんこ病 すすかび病 果実赤点病	1000~ 2000倍					
おうとう	灰星病	1000倍	200~700 ℓ /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
みかん	灰色かび病 そうか病 貯蔵病害(緑かび病)	1000~ 2000倍	200~700 ℓ /10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
かんきつ (みかんを除く)	灰色かび病 そうか病 貯蔵病害(緑かび病)	2000倍	200~700 ℓ /10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
かき	炭疽病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すす点病 黒星病	1000~ 1500倍	200~700 ℓ /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
キウイフルーツ	果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病)	1000倍	200～700ℓ ／10a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
小粒核果類 (うめ、すもも を除く)	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病	2000倍	200～700ℓ ／10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病 枝枯病	2000倍	200～700ℓ ／10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
びわ	灰斑病 灰色かび病	1000倍	200～700ℓ ／10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
		10倍	4ℓ／10a			無人航空機 による散布	
すもも	灰星病	1000～ 2000倍	200～700ℓ ／10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー	炭疽病	1000倍	200～700ℓ ／10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
あけび (果実)	うどんこ病	3000倍	200～700ℓ ／10a	収穫14日前 まで	2回以内	散布	2回以内
すいか	うどんこ病 つる枯病 菌核病 炭疽病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	4回以内	散布	4回以内
メロン	うどんこ病 つる枯病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
かぼちゃ	うどんこ病	1000～ 2000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内
ズッキーニ	うどんこ病	2000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	7回以内	散布	7回以内
きゅうり	褐斑病	2000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	7回以内	散布	7回以内
	うどんこ病 灰色かび病 炭疽病	2000～ 4000倍					
うり類 (漬物用)	うどんこ病 つる枯病 炭疽病	2000～ 4000倍	100～300ℓ ／10a	収穫3日前 まで	5回以内	散布	5回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを 含む農薬の 総使用回数
なす	すすかび病 灰色かび病 うどんこ病	3000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
アスパラガス	茎枯病 斑点病 褐斑病	1000倍	100～500ℓ ／10a	収穫7日前 まで	5回以内	散布	5回以内
たまねぎ	灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	5回以内	散布	5回以内
ねぎ	葉枯病 さび病 黒斑病	2000倍	100～300ℓ ／10a	収穫30日前 まで	3回以内	散布	3回以内
にんにく	葉枯病	1000～ 1500倍	100～300ℓ ／10a	収穫3日前 まで	3回以内	散布	3回以内
にんじん	菌核病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	5回以内	散布	5回以内 (種子粉衣は 1回以内、 無人航空機散布は 2回以内)
	黒葉枯病	500～ 1000倍					
		—	乾燥種子重量の 0.5%	は種前	1回	種子粉衣	
トマト	葉かび病 灰色かび病	3000～ 6000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
ミニトマト	葉かび病 灰色かび病	6000倍	100～300ℓ ／10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	2回以内
レタス	灰色かび病 菌核病	1000～ 2000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
キャベツ	菌核病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内
いちご	炭疽病 うどんこ病	1000倍	100～300ℓ ／10a	育苗期 (定植前)	5回以内	散布	10回以内 (育苗期は5回以内、 本圃では5回以内)
	うどんこ病	4000倍		収穫前日 まで (生育期)			
豆類 (種実、ただし、だいずを 除く)	うどんこ病 炭疽病 褐斑病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
だいず	紫斑病	1000倍	100～300ℓ ／10a	収穫7日前 まで	4回以内	散布	4回以内 (種子粉衣は 1回以内)
		—	乾燥種子重量の 0.5%	は種前	1回	種子粉衣	

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	イミノクタジンを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	夏疫病	500倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内
やまのいも	葉渋病	1000～2000倍	100～300ℓ /10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	5回以内 (種いもへの処理は1回以内、無人航空機散布は3回以内)
	青かび病	—	種いも重量の1%	植付前	1回	種いも粉衣	
てんさい	斑点病 褐斑病	1000倍	100～300ℓ /10a	収穫14日前まで	4回以内	散布	4回以内
小麦	赤かび病	1000～2000倍	60～180ℓ /10a	収穫21日前まで	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布	4回以内 (種子への処理は1回以内、散布及び無人航空機散布は合計3回以内、出穂期以降は1回以内)
茶	炭疽病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による)	1000倍	200～400ℓ /10a	摘採7日前まで	2回以内	散布	2回以内
たばこ	赤星病 うどんこ病 灰色かび病	1000～2000倍	100～180ℓ /10a	収穫10日前まで	2回以内	散布	2回以内
樹木類	炭疽病	1000倍	200～700ℓ /10a	発病初期	3回以内	散布	3回以内

使用上の注意事項

- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- りんごに使用する場合、芽出し2週間過ぎから落花後25日ごろまではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ル レクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号などの缶詰用品種では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
- 本剤をおうとうに使用する場合、着色始期から中期の散布では薬害(着色障害)が生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に薬斑を生じるので使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさけてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると、薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、かからないように注意して散布してください。
- 蚕に対して毒性があるので、桑にかからないように注意して散布してください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節してください。
- 無人航空機による散布を行う場合には、次の注意事項を遵守してください。
 - ①散布機種の散布基準に従って行ってください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中に薬液の漏洩がないよう、事前に機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬剤の飛散によって他の動植物等に影響を与えないよう、散布区域の選定に注意するとともに、散布区域内の諸物件に十分留意してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 誤飲、誤食などのないよう注意してください。
- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としとしてください。
- 薬液調製時および使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園などで使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜などに被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

水産動植物に係る注意事項

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管に関する注意事項

- 密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した場所に保管してください。